

方向性Ⅰ・町民主導で考える利便性の高い町内公共交通網の構築

- 施策①：生活圏となっている町内施設や各地域の拠点までのアクセスを向上させる交通の導入
- ⇒交通空白及び不便地域における町内施設や各地域の拠点までの移動利便性の向上
 - ⇒地域の資源を活用した新たな公共交通の実証運行事業を見据え、対象地区や運行形態等を検討
 - ⇒立ち寄り場所や運行時間帯については、地域とともに運行計画案を作成し、実証運行事業を実施しながら検証・改善を行い、進めていく

- 施策②：本町市街地における主要施設を結ぶ交通の導入
- ⇒病院や買い物施設、森駅等を目的地として設定
 - ⇒立ち寄り場所や運行時間帯については、地域とともに運行計画案を作成し、実証運行事業を実施しながら検証・改善を行い、進めていく

- 施策③：移動における町民ニーズに即した町内バス路線の見直し
- ⇒変化する町民ニーズに対応したバス路線網の見直し
 - ⇒主に本町市街地及び砂原地区のバス路線や停留所の見直しを検討
 - ⇒J Rや他公共交通との乗り継ぎを考慮

方向性Ⅱ・町民の広域的な移動を確保する町内交通と広域交通の連携

- 施策④：北海道新幹線駅への接続強化
- ⇒乗り継ぎを考慮した町内交通との接続

方向性Ⅲ・町民とともに公共交通を考える機会の創出

- 施策⑥：公共交通利用者が積極的に公共交通への意見出しを行う利用者会議の開催
- ⇒公共交通の利用者を主な対象とした利用者会議の開催
 - ⇒運行時間帯や運行形態等について、意見をいただき、協議会への共有を行う体制を構築

- 施策⑦：公共交通への関心の向上を目的とした定期的な情報配信
- ⇒運行ダイヤの変更に伴い、必要に応じた情報発信
 - ⇒広報等を通じて、公共交通の利用状況の共有や便利な取組等の共有

- 施策⑧：外出支援サービス事業の実施
- ⇒バス事業者や町内タクシー等の利用券、福祉有償運送や生きがい活動等の利用に係る料金助成の継続
 - ⇒新たな外出支援サービス事業についても検討

方向性Ⅳ・持続的な公共交通の確保・維持に向けた体制の強化

施策⑨：森町地域公共交通会議の機能強化

⇒年2回実施予定の地域公共交通会議により、下記の表に基づき目標値等の評価を実施

目標値案	数値・評価イメージ	目標値の把握手法
タクシー利用者数（人/年度）	維持	運行事業者データにて把握
町民の地域幹線系統バスの利用者数（人/便）	維持	運行事業者データにて把握
町民の地域幹線系統バスの利用率（%/便）	維持	運行事業者データにて把握
町内バス路線の利用者数（人/年度）	増加	運行事業者データにて把握
生活移動のための支援事業費用（円/年度）	維持・減少	庁内関係部署を通じて把握
新たな公共交通の収支率（%/年度）	維持・増加	運行事業者データにて把握
意識醸成の場や機会の創出回数（回/年度）	増加	交通会議で把握
町民への周知回数（回/年度）	増加	担当課で把握
利用者会議におけるニーズ把握の状況	毎年1回	担当課で把握